（様式2） 実行計画管理シート

事業名	74	視覚障害者に対する同行援護事業	部・課	福祉部　障害福祉室

総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	10　障害者が自立し、社会参加ができるまち
	（関連施策目標等）	
	（関連施策目標等）	
	4つの重点的に進める施策との関係	
総合戦略との関係	基本目標	
	施策目標	
市長公約との関係		＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	
	2016(H28)年度市政運営方針	
	2017(H29)年度市政運営方針	
	2018(H30)年度市政運営方針	

事業概要（目的・内容等）	視覚障害者のうち65歳以上などの介護保険サービス対象者は、介護保険でのサービスを優先利用している。 【拡充（平成28年度9月補正）】 介護保険サービスでの通院時の外出支援では、院内の代読・代筆等、必要な支援が十分受けられない現状を踏まえ、代読・代筆等の院内支援も可能な障害福祉サービスである同行援護の通院利用を追加し認めていくことで、視覚障害のある要介護・要支援認定者等の通院の利便性を向上する。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		①視覚障害者に対する同行援護サービスの支給決定 【拡充（平成28年度9月補正）】 ②対象者及び同行援護事業者に対する制度の周知 ③これまでの介護保険サービスに加え、視覚障害者で要介護・要支援認定者等に対する通院時の同行援護の実施
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①視覚障害者に対する同行援護サービスの支給決定 【拡充（平成28年度9月補正）】 ②対象者及び同行援護事業者に対する制度の周知 ③これまでの介護保険サービスに加え、視覚障害者で要介護・要支援認定者等に対する通院時の同行援護の実施
	実績（評価）	①同行援護サービスを143人支給決定した。 ②広報ひらかた、ホームページへの掲載及び対象者へ文書を郵送して周知に努めた。 ③平成28年度は81人に支給決定した。（平成28年10月より実施）
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	サービス提供事業所に対し同行援護事業制度の理解を促進及び、利用者へのサービス利用の周知。		
今後の対応	広報活動としてホームページへの掲載を行う。また、事業者連絡会において同行援護サービスで通院利用も可能である等の情報提供を障害福祉サービス従事者に行うことを通じて、利用者である視覚障害者へ制度の理解・普及を促していくように継続して周知に努める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中		

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	95,771	47,885	23,942				23,944
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）